

DERWENT-ACC-NO: 1994-053053

DERWENT-WEEK: 199407

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Portable teletext receiver -  
signals notification sound  
when received teletext  
information corresponds with  
expected data registered in  
memory NoAbstract

PATENT-ASSIGNEE: CANON KK[CANO]

PRIORITY-DATA: 1992JP-0184773 (June 19, 1992)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO		PUB-DATE
LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 06006770 A		January 14, 1994
N/A	003	H04N 007/08

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR
APPL-NO	APPL-DATE
JP 06006770A	N/A
1992JP-0184773	June 19, 1992

INT-CL (IPC): H04N007/08

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 06006770A

EQUIVALENT-ABSTRACTS:

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/1

TITLE-TERMS: PORTABLE TELETEXT RECEIVE SIGNAL  
NOTIFICATION SOUND RECEIVE

TELETEXT INFORMATION CORRESPOND DATA  
REGISTER MEMORY NOABSTRACT

DERWENT-CLASS: W03

EPI-CODES: W03-A10E; W03-A10X; W03-A18A;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1994-042093

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-6770

(43)公開日 平成6年(1994)1月14日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>  
H 0 4 N 7/08

識別記号 庁内整理番号  
A 9070-5C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-184773

(22)出願日 平成4年(1992)6月19日

(71)出願人 000001007

キャノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 町田 稔

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャ  
ノン株式会社内

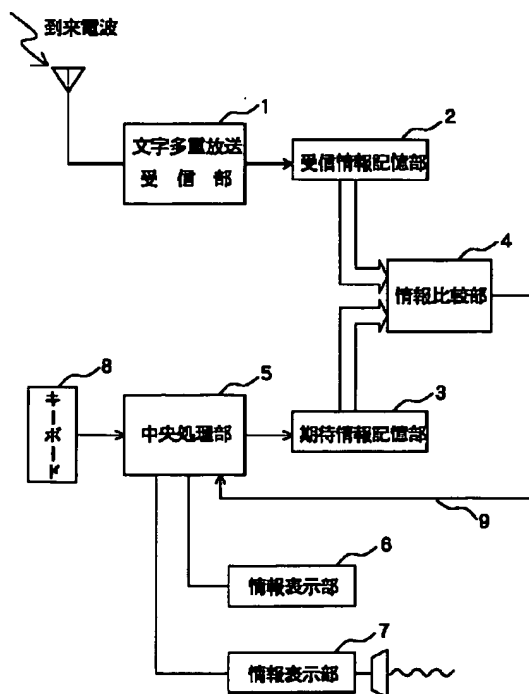
(74)代理人 弁理士 田北 嵩晴

(54)【発明の名称】 携帯型端末装置

(57)【要約】

【目的】 利用者が期待し、要求する情報を表示し、告知することのできる携帯型端末装置を得ること。

【構成】 3は期待情報記憶部であり、利用者によってキーボード8から入力された期待情報が中央処理部5を経て期待している銘柄名と期待株価として格納される。情報比較部4は受信情報記憶部2と期待情報記憶部3の両記憶部の内容を逐次比較し、一致を見た時に中央処理部5に対して信号線9経由で通知する。中央処理部5はこれを受けて情報表示部6にこの内容を表示し、告知音発生部7に音発生指令を出す。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報表示部を有する携帯型端末装置において、文字多重のテレビジョン放送を受信する受信手段と、予め入力した期待情報を記憶する期待情報記憶手段と、前記受信手段により受信した情報と、前記記憶された期待情報とを比較する比較手段と、この比較手段の出力の結果に応答して告知する告知手段とを設けたことを特徴とする携帯型端末装置。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明はテレビジョンの文字多重放送で受信出来る情報を利用し、利用者の期待している情報が到来した時に、自動的にこれを告知できるようにした携帯型端末装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】これまで、テレビジョン放送における文字多重放送の受信装置は、専ら放送されてくる情報を表示装置に時々刻々、その時点の情報を表示するのみであった。しかし、株式情報等の利用者にとって期待している情報は、特定の銘柄である場合が多い。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述の放送のように、数多くの情報が次々と送られてくるような場合、利用者は自分の期待している情報を探し出さなくてはならないといった欠点があった。

【0004】本発明はかかる課題を解決するためになされたもので、利用者が期待し、要求する情報を表示し、告知することのできる携帯型端末装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、この発明の携帯型端末装置は、文字多重のテレビジョン放送を受信する受信手段と、予め入力した期待情報を記憶する期待情報記憶手段と、前記受信手段により受信した情報と、前記記憶された期待情報とを比較する比較手段と、この比較手段の出力の結果に応答して告知する告知手段とを設けたものである。

【0006】

【作用】本発明では、放送されてくる情報の中から、利用者の期待する情報のみを取り出して、これを表示装置に表示し、それと同時に告知音発生手段によって利用者に告知するようにしたものである。また本願において、例えば、期待情報記憶手段には、期待銘柄のみでなく、該銘柄の期待株価も併せて記憶できるので、利用者の期待している銘柄が、期待の株価を超えた時に、告知音を発するように制御することも可能なものである。

【0007】

2

【実施例】図1は、本発明の一実施例である主要部の概略構成を示すブロック図である。図1において、1は文字多重放送受信部であり、放送波の中から文字情報部を取り出して、2の受信情報記憶部へ文字情報として送り出す。受信情報記憶部2の中には、例えば、銘柄名（あるいは、銘柄コード）と株価が最低の要素として格納される。3は期待情報記憶部であり、利用者によって8のキーボードから入力された期待情報が5の中央処理部を経て、期待している銘柄名（銘柄コード）と期待株価として格納される。4の情報比較部は、受信情報記憶部2と期待情報記憶部3の両記憶部の内容を逐次比較し、一致を見た時に、中央処理部5に対して9の信号線経由で通知する。中央処理部5はこれを受けて、6の情報表示部にこの内容を表示し、7の告知音発生部に音発生指令を出す。これにตอบสนองして告知音発生部7が告知音を発するので利用者は、期待情報が到来したことを認識出来ることになる。

【0008】なお、前記期待している銘柄の株価の入力は何円以上または何円以下と入力されることは言うまでもない。また、利用者が期待情報として期待銘柄のみを入力した時は、情報比較部4は銘柄部のみ的一致した時点で、中央処理部5に一致した旨の通知をするように動作する。

【0009】本実施例では、株価情報をもとに説明してきたが、例えば、野球の途中経過や試合終了時を期待情報として入力すれば、これらに应用可能なことは勿論である。

【0010】

【発明の効果】以上説明したように、本発明では、携帯型端末装置に文字多重のテレビジョン放送受信手段と、期待情報記憶手段、情報比較手段を設けることにより、放送されてくる情報の中から期待する情報を引き出し、期待する情報が到来したことを利用者に自動的に告知することができる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例である主要部の概略構成を示すブロック図である。

## 【符号の説明】

- 1 文字多重放送受信部
- 2 受信情報記憶部
- 3 期待情報記憶部
- 4 情報比較部
- 5 中央処理部
- 6 情報表示部
- 7 告知音発生部
- 8 キーボード
- 9 信号線

【図1】

